

大学通り学園・住宅地区のカラーガイド



■印刷されている色見本は、実際のマンセル値と異なる場合がありますので、マンセル色票系の色見本のマンセル値を参考にしましょう。

■国立市都市計画課  
TEL.042-576-2111 (内線362)

# 並木に調和した街並みのために ～色彩のルール～

緑豊かな街並みに調和する配色は、  
低彩度の色彩やニュートラルカラーから選びましょう。  
好ましいカラーガイドを示します。

## 素材

木材、大理石、石材やレンガなどの天然素材を外装に用いる場合は、素材色そのまま使用できます。ただし、タイルなどの磁器類、加工建材は天然素材に含みません。光る素材、反射する素材、蛍光性の強い特殊な塗料で加工した建材は避けましょう。

## 色相

主要5色相は、赤(5R)、黄(5Y)、緑(5G)、青(5B)、紫(5P)ですが、この中間の色相として、橙(YR)、黄緑(GY)、青緑(BG)、青紫(PB)、赤紫(RP)の10色相を基調とし、自由な選択ができます。

## 明度

N1.0を黒、9.5を白として、数値が大きいくほど、明るい色であることを意味しています。6.0以上のできるだけ高い明度から選びましょう。無彩色は、N1.0～9.5まで使用してもかまいません。無彩色以外の低い明度の色を外壁材に用いる場合には、彫り・溝・吹き付けなどによって、テクスチャーを付けましょう。

## 彩度

色の鮮やかさを表しています。数値が大きくなるほど、鮮やかさが増します。彩度2以下では色みはありますが、低い彩度の色となります。また、ニュートラルカラーとは、0.5～1の低彩度の灰色をさします。色相によって、最も鮮やかな色の彩度値に違いがありますが、どの色相でも彩度8以上では色みが強く、かなり鮮やかな色となります。ただし、低彩度であっても、低明度の色を使用する場合には、表面仕上げなどの工夫によって、周辺の建物と配色のバランスをとりましょう。また、建物の外壁の一部やフェンスの付属部分などにアクセントカラーを施す場合でも、高彩度から選んだ配色は避けましょう。

- 実際のマンセル色票と、裏面に印刷されている色見本とは異なる場合があります。詳しくは、マンセル表色系色見本帳の色票や、他の色票に記載されているマンセル値を参考にしましょう。

### ●色票のマンセル値の例●

10YR	5.5	/4
↑	↑	↑
色相	明度	彩度

- 重点地区 大学通り 学園・住宅地区 アプローチの補足説明として、「2-1. 並木に調和した街並みのために：色彩」について、裏面にカラーガイドを表示します。